第3章 影響要因・環境要素及び環境影響評価の項目 (選定の結果)

第1節 環境影響評価の項目の選定

対象事業に係る環境影響評価の項目は、「長野県環境影響評価技術指針」(平成 10 年 9 月 28 日長野県告示第 476 号、最終改正:平成 28 年 1 月 12 日長野県告示第 18 号)の[様式]環境要因-環境要素関連表を基に、事業の特性及び地域の特性を考慮し、表 3-1-1 のとおり選定した。

表 3-1-1 環境影響評価の項目の選定

								_			•		1	,0,1,0	首町			-	`~	_		-										1	1					
			7	大気質	質					7.	k質			水	.象		土壌 汚染		力	也形・	• 地質			植物	勿		動	物		景観			廃棄	物等		その他	1の環境	雯素
	影響要因区分	環境要素 (小区分)	環境基準が設定されている物質	粉じん	その他必要な項目	番 振 計 動	低周波音	悪臭	環境基準が設定されている項目及び物質	その他必要な項目	水生生物	底質地下水質	河川及び湖沼	地下水		別水及び水面引用等		地盤沈下	地形	地質	土地の安定性	注目すべき地形・地質	植物相	植 土壌	注目すべき個体・集団・種及び群落	保全機能等	動物相	注目すべき種及び個体群	生態系	景観資源及び構成要素主要な景観	触れ合い活動の場	文化財	廃棄物	残土等の副産物	温室効果ガス等		電皮障害	光害
	運搬(機材・資材・廃 材・残土等)		0	0)									\dagger											Δ	Δ			0				\triangle		+	
工事	土地造成 (切土・盛土)		0	0)		0		Δ		0	0		Δ	7				0		0 (Δ	0	0	0	0	0	0 0		0			Δ			
による	樹木の伐採												0	0							0		0)	0	0	0	0	0	0 C					Δ			
よる影響	掘削	床掘(管渠、防災調整池堰堤)	0	0)		0		Δ			0									0	ΟΔ	0	0	0	0				0			Δ			
	廃材・残土等の 発生・処理	伐採木・残土	Δ	\triangle			`																		0	0	0	\bigcirc	0	0 0		0	0	0				
	地形改変												0	0							0		0		0		0	0	0	0 C								
存	樹木伐採後の存在												0	0							0		0	Э	0	0	0	0	0	0 C								
在・	工作物の存在	太陽光パネル・調整池の存在等											0	0									0	Э	0	0	0	0	0	0 C				\triangle	0			0
供用	緑化												0	0							0		0	Э	0	0	0	0	0	0 C					Δ			
によ	施設の稼働	パワーコンディショナー等の稼働					0																													(
る影響	太陽光パネル等の交 換・廃棄	5														Δ	7																0	Δ				
	排水処理																																					

注 1) 本事業では、継続して発電、送電事業を行う計画としており、現在のところ施設の撤去については想定していないため、影響要因のうち「供用終了後の影響」は選定していない。

注2) 本事業では、維持管理等に農薬・除草剤等を使用しない計画であるため、影響要因のうち、「存在・供用による影響」の「農薬の使用」は選定していない。

【凡例】

○ : 重点化項目(調査、予測及び評価を詳細に行う項目)○ : 標準項目(調査、予測及び評価を標準的に行う項目)△ : 簡略化項目(調査、予測及び評価を簡略化して行う項目)

無記入 : 非選定項目(調査、予測及び評価を行わない項目)

第2節 方法書からの変更内容

環境影響評価方法書において選定した評価項目に対して、長野県環境影響評価条例に基づく環境保全の見地からの意見等を踏まえて、環境影響評価項目の見直しを行った。方法書からの変更点は、表 3-2-1 に示すとおりである。

表 3-2-1 環境影響評価の項目の方法書からの変更点の概要

表 3-2-1 環境影響評価の項目の方法書からの変更点の概要						
項目	変更内容					
	・ 知事意見により、地上気象の調査項目として気温、湿度、日射量、放射					
大気質	収支量、降水量を追加した。					
	・知事意見により、諏訪市四賀(計画地内)を調査地点として追加した。					
	・技術委員会の助言により、調査方法に既存施設での測定を追加した。					
騒音・振動	・技術委員会の助言により、創価学会長野県青年研修道場の調査地点は諏					
	訪市四賀(計画地内)に変更した。					
低周波音	・技術委員会の助言により、調査方法に既存施設での測定を追加した。					
	・知事意見により、健康項目を調査項目に追加した。					
	・知事意見により、最上流地点を調査地点として追加した。					
水質	・知事意見により、土質の状況は、A調整池流域、B調整池流域、C調整池					
73.94	流域の3箇所の試料を採取した。					
	・ 管理施設を置かない計画としたため、供用後の排水による水質の予測を					
	削除した。					
	・知事意見により、調査項目に、水文気象状況(水文気象状況の整理、蒸					
	発散量の算定)、湿地実態調査(湿地・湧水分布調査)、水収支調査(広					
i	域的な沢水・湧水における流量観測)、水質分析(沢水、湿地水、湧水、					
水象	井戸水)を対象とした水質分析、主成分分析、酸素・水素同位体分析)、					
	自記流量観測を追加した。					
	・技術委員会の助言により、地下水について工事による影響、及び存在・					
1. 大江池。	供用による影響に係る項目を標準項目とした。					
土壌汚染	・方法書から変更なし					
	・ 知事意見により、土地の安定性について、存在・供用による影響のうち、 地形である。 増土化板後の地数・31/1/2 のいて標準度見した。					
地形・地質	地形改変、樹木伐採後の状態、緑化について標準項目とした。					
	・技術委員会の助言により、土地の安定性について、計画見直しにより工					
	事による影響のうち残土等の発生・処理を削除した。					
植物	・ 知事意見により、河川沿いや湿地に注目すべき群集・群落が生育することから、植生について春季の調査を追加した。					
	・ 知事意見及び技術指針マニュアルにより、希少猛禽類調査は、営巣が確					
動物	お手思見及い技術指針マーユナルにより、布罗温呂類調査は、呂果が確認されたことから、2営巣期の調査を実施した。					
生態系	・ 方法書から変更なし					
工 思 尔	・ 知事意見により、別荘地内(ビバルデの丘)、霧ヶ峰・車山肩、車山頂					
	上、杖突峠、鳥居平やまびこ公園、茅野市玉川泉野、守屋山、高ボッチ					
	 山、ピラタス蓼科スノーリゾート、北八ヶ岳ロープウェイ山頂駅、北八					
景観	ケ岳(横岳)、八ヶ岳連峰(赤岳)を調査地点として追加した。					
	技術委員会の助言により、景観資源及び構成要素、主要な景観について、					
	工事による影響に係る項目を標準項目とした。					
	・知事意見により、工事用車両の通行等による触れ合い活動の場への影響					
触れ合い活動の場	が考えられることから、調査、予測及び評価を行う標準項目とした。					
	・ 知事意見により、存在・供用による影響について、除草作業による草木					
	の発生、工作物(調整池)の存在による浚渫土砂の発生、発電事業の廃					
廃棄物等	止により廃太陽光パネルの発生が考えられることから、予測及び評価を					
	行うこととした。					
	・知事意見により、工事による影響について、重機の稼働及び工事用車両					
温室効果ガス等	等の走行による温室効果ガス等の排出が考えられることから、予測及び					
	評価を行う標準項目とした。					
٠ ـ ـ ـ ـ ـ ـ ـ ـ ـ ـ ـ ـ ـ ـ ـ ـ ـ ـ ـ	・知事意見により、電波障害の調査方法に既存施設での測定を追加し、標					
その他の環境要素	準項目とした。					
	<u> </u>					

第3節 選定の理由

環境影響評価の項目の選定理由は、以下に示すとおりである。

3-1 大気質

表 3-3-1 環境影響評価の項目の選定理由(大気質、工事による影響)

	2000 D H I I I X A 1 X C X		八只、エチにのもが自
影響要因の区分	環境要素の区分		選定項目の分類・根拠等
	大気質(環境基準が設		工事関係車両の走行に伴い大気
運搬(機材・資材・	定されている物質)		質への影響が考えられる。
廃材・残土等)	W(1)		工事関係車両の走行に伴い砂塵
	粉じん		等の巻き上げが考えられる。
	大気質(環境基準が設		建設機械の稼働に伴い大気質へ
1.46次代(四1. 成1.)	定されている物質)		の影響が考えられる。
土地造成(切土·盛土)	W(1)		強風に伴い裸地から砂塵等の巻
	粉じん	O	き上げが考えられる。
性士の仏が			大気質における周辺環境への影
樹木の伐採	_	_	響はない又は極めて小さい。
	大気質(環境基準が設		建設機械の稼働に伴い大気質へ
 	定されている物質)		の影響が考えられる。
掘削	W(1)		強風に伴い裸地から砂塵等の巻
	粉じん	O	き上げが考えられる。
	大気質(環境基準が設	^	建設機械の稼働に伴い大気質へ
廃材・残土等の発生・	定されている物質)		の影響が考えられる。
処理	业())	^	強風に伴い裸地から砂塵等の巻
	粉じん		き上げが考えられる。

注) ◎: 重点化項目 (調査、予測及び評価を詳細に行う項目)

○:標準項目 (調査、予測及び評価を標準的に行う項目) △:簡略化項目 (調査、予測及び評価を簡略化して行う項目)

-:非選定項目(調査、予測及び評価を行わない項目)

表 3-3-2 環境影響評価の項目の選定理由(大気質、存在・供用による影響)

ひょう と 塚境泉	音計画の項目の選定項目	リスクノロ	見、行任・供用による影音/
影響要因の区分	環境要素の区分		選定項目の分類・根拠等
地形改変 78			大気質における周辺環境への影響
地形以发 10	_		はない又は極めて小さい。
樹木伐採後の状態	_		大気質における周辺環境への影響
倒小以沐夜 7 从忠	_	_	はない又は極めて小さい。
工作物の存在	_		大気質における周辺環境への影響
工1下初071于1工	_	_	はない又は極めて小さい。
緑化	_		大気質における周辺環境への影響
形化工	_	_	はない又は極めて小さい。
施設の稼働	_		大気質における周辺環境への影響
旭収が郷	_	_	はない又は極めて小さい。
太陽光パネル等の交			大気質における周辺環境への影響
換・廃棄			はない又は極めて小さい。
排水処理			大気質における周辺環境への影響
1升小火汽车	_		はない又は極めて小さい。

注) ◎: 重点化項目 (調査、予測及び評価を詳細に行う項目)

○:標準項目 (調査、予測及び評価を標準的に行う項目)

△: 簡略化項目 (調査、予測及び評価を簡略化して行う項目)

3-2 騒音

表 3-3-3 環境影響評価の項目の選定理由(騒音、工事による影響)

影響要因の区分	環境要素の区分		選定項目の分類・根拠等
運搬(機材・資材・廃 材・残土等)	騒音	0	工事関係車両の走行に伴い騒音 による周辺環境への影響が考え られる。
土地造成(切土·盛土)	騒音	0	建設機械の稼働に伴い騒音による周辺環境への影響が考えられる。
樹木の伐採	騒音	0	伐採に使用する機械の稼働に伴 い騒音による周辺環境への影響 が考えられる。
掘削	騒音	0	建設機械の稼働に伴い騒音による周辺環境への影響が考えられる。
廃材・残土等の発生・ 処理	騒音	Δ	建設機械の稼働に伴い騒音によ る周辺環境への影響が考えられ る。

注) ②: 重点化項目 (調査、予測及び評価を詳細に行う項目) 〇:標準項目 (調査、予測及び評価を標準的に行う項目) △:簡略化項目 (調査、予測及び評価を簡略化して行う項目) 一:非選定項目 (調査、予測及び評価を行わない項目)

表 3-3-4 環境影響評価の項目の選定理由(騒音、存在・供用による影響)

200 平城先	が青叶画の気白の色に生		、 下江 六川によるが青/			
影響要因の区分	環境要素の区分		選定項目の分類・根拠等			
地形改変	_	_	騒音における周辺環境への影響は			
地形以发			ない又は極めて小さい。			
樹木伐採後の状態	_		騒音における周辺環境への影響は			
倒不以抹饭 7 小愿	_	_	ない又は極めて小さい。			
工作物の存在	_		騒音における周辺環境への影響は			
工1下初071于1工		- ない又は極めて小さい。				
緑化	_		騒音における周辺環境への影響は			
7水1日	_	_	ない又は極めて小さい。			
			パワーコンディショナーの稼働に			
施設の稼働	騒音	\circ	伴い騒音による周辺環境への影響			
			が考えられる。			
太陽光パネル等の交			騒音における周辺環境への影響は			
換・廃棄			ない又は極めて小さい。			
排水処理			騒音における周辺環境への影響は			
19F小火吐生	_		ない又は極めて小さい。			

注) ②: 重点化項目 (調査、予測及び評価を詳細に行う項目) 〇: 標準項目 (調査、予測及び評価を標準的に行う項目) △: 簡略化項目 (調査、予測及び評価を簡略化して行う項目) -: 非選定項目 (調査、予測及び評価を行わない項目)

3-3 振動

表 3-3-5 環境影響評価の項目の選定理由(振動、工事による影響)

影響要因の区分	環境要素の区分		選定項目の分類・根拠等
運搬(機材・資材・廃 材・残土等)	振動	0	工事関係車両の走行に伴い振動に よる周辺環境への影響が考えられ る。
土地造成(切土·盛土)	振動	0	建設機械の稼働に伴い振動による 周辺環境への影響が考えられる。
樹木の伐採	_	_	振動における周辺環境への影響は ない又は極めて小さい。
掘削	振動	0	建設機械の稼働に伴い振動による 周辺環境への影響が考えられる。
廃材・残土等の発生・ 処理	振動	Δ	建設機械の稼働に伴い振動による 周辺環境への影響が考えられる。

注) ◎: 重点化項目 (調査、予測及び評価を詳細に行う項目) ○: 標準項目 (調査、予測及び評価を標準的に行う項目) △: 簡略化項目 (調査、予測及び評価を簡略化して行う項目) -: 非選定項目 (調査、予測及び評価を行わない項目)

表 3-3-6 環境影響評価の項目の選定理由(振動、存在・供用による影響)

影響要因の区分	環境要素の区分		選定項目の分類・根拠等
地形改変	_	_	振動における周辺環境への影響は ない又は極めて小さい。
樹木伐採後の状態	_	_	振動における周辺環境への影響は ない又は極めて小さい。
工作物の存在	_	_	振動における周辺環境への影響は ない又は極めて小さい。
緑化	_	_	振動における周辺環境への影響は ない又は極めて小さい。
施設の稼働	振動	0	パワーコンディショナーの稼働に 伴い振動による周辺環境への影響 が考えられる。
太陽光パネル等の交 換・廃棄	_	_	振動における周辺環境への影響は ない又は極めて小さい。
排水処理	_	_	振動における周辺環境への影響は ない又は極めて小さい。

注)◎: 重点化項目 (調査、予測及び評価を詳細に行う項目) ○: 標準項目 (調査、予測及び評価を標準的に行う項目) △: 簡略化項目 (調査、予測及び評価を簡略化して行う項目) -: 非選定項目 (調査、予測及び評価を行わない項目)

3-4 低周波音

表 3-3-7 環境影響評価の項目の選定理由(低周波音、工事による影響)

影響要因の区分	環境要素の区分		選定項目の分類・根拠等
運搬(機材・資材・廃			低周波音における周辺環境への
材・残土等)	_	_	影響はない又は極めて小さい。
土地造成(切土·盛土)	_		低周波音における周辺環境への
上地坦风(971、盆工/	_	_	影響はない又は極めて小さい。
樹木の伐採	_		低周波音における周辺環境への
倒小り入1木	_	_	影響はない又は極めて小さい。
掘削	_		低周波音における周辺環境への
1/出月1	_	_	影響はない又は極めて小さい。
廃材・残土等の発生・	_		低周波音における周辺環境への
処理	_	_	影響はない又は極めて小さい。

注) ◎: 重点化項目 (調査、予測及び評価を詳細に行う項目)

○:標準項目 (調査、予測及び評価を標準的に行う項目)△:簡略化項目 (調査、予測及び評価を簡略化して行う項目)一:非選定項目 (調査、予測及び評価を行わない項目)

表 3-3-8 環境影響評価の項目の選定理由(低周波音、存在・供用による影響)

影響要因の区分	環境要素の区分		選定項目の分類・根拠等				
地形改変	_		低周波音における周辺環境への影				
地形以发	_						
樹木伐採後の状態	_	_	低周波音における周辺環境への影				
倒小以沐饭 少小思	_		響はない又は極めて小さい。				
工作物の存在			低周波音における周辺環境への影				
工,11-400071于1工	_		響はない又は極めて小さい。				
緑化	_	_	低周波音における周辺環境への影				
形化工	_		響はない又は極めて小さい。				
			パワーコンディショナーの稼働に				
施設の稼働	低周波音	\circ	伴い低周波音による周辺環境への				
			影響が考えられる。				
太陽光パネル等の交	_		低周波音における周辺環境への影				
換・廃棄			- 低周波音における周辺環境への影響はない又は極めて小さい。 - 低周波音における周辺環境への影響はない又は極めて小さい。 - 低周波音における周辺環境への影響はない又は極めて小さい。 - 低周波音における周辺環境への影響はない又は極めて小さい。 - ペワーコンディショナーの稼働に伴い低周波音による周辺環境への影響が考えられる。				
排水処理			低周波音における周辺環境への影				
1 排水处理	_	_	響はない又は極めて小さい。				

注) ◎: 重点化項目 (調査、予測及び評価を詳細に行う項目)

○:標準項目 (調査、予測及び評価を標準的に行う項目) △:簡略化項目 (調査、予測及び評価を簡略化して行う項目)

3-5 悪臭

表 3-3-9 環境影響評価の項目の選定理由 (悪臭、工事による影響)

	· ***						
影響要因の区分	環境要素の区分		選定項目の分類・根拠等				
運搬(機材・資材・廃	_		悪臭における周辺環境への影響				
材・残土等)	_	_	はない又は極めて小さい。				
土地造成(切土・盛土)	_	_	悪臭における周辺環境への影響				
上地坦风(奶工'盆工/	_	_	はない又は極めて小さい。				
樹木の伐採	_	_	悪臭における周辺環境への影響				
倒がり以床			はない又は極めて小さい。				
 掘削	_	_	悪臭における周辺環境への影響				
1/正月1			はない又は極めて小さい。				
廃材・残土等の発生・			悪臭における周辺環境への影響				
処理			はない又は極めて小さい。				

注) ◎: 重点化項目 (調査、予測及び評価を詳細に行う項目)

○:標準項目 (調査、予測及び評価を標準的に行う項目) △: 簡略化項目 (調査、予測及び評価を簡略化して行う項目) -: 非選定項目 (調査、予測及び評価を行わない項目)

表 3-3-10 環境影響評価の項目の選定理由(悪臭、存在・供用による影響)

影響要因の区分	環境要素の区分		選定項目の分類・根拠等				
地形改変	_		悪臭における周辺環境への影響は				
地形以发			ない又は極めて小さい。				
樹木伐採後の状態	_	_	悪臭における周辺環境への影響は				
倒不以不及 7 从思		- ない又は極めて小さい。					
工作物の存在			悪臭における周辺環境への影響は				
工11-10007行工			ない又は極めて小さい。				
緑化	_		悪臭における周辺環境への影響は				
形化			ない又は極めて小さい。				
施設の稼働	_		悪臭における周辺環境への影響は				
旭政が郷		ない又は極めて小さい。					
太陽光パネル等の交	_		悪臭における周辺環境への影響は				
換・廃棄			ない又は極めて小さい。				
排水処理			悪臭における周辺環境への影響は				
1分/小火沙生	_	_	ない又は極めて小さい。				

注) ◎: 重点化項目 (調査、予測及び評価を詳細に行う項目)

○:標準項目 (調査、予測及び評価を標準的に行う項目) △: 簡略化項目 (調査、予測及び評価を簡略化して行う項目) 一: 非選定項目 (調査、予測及び評価を行わない項目)

3-6 水質

表 3-3-11 環境影響評価の項目の選定理由(水質、工事による影響)

影響要因の区分	環境要素の区分	選定項目の分類・根拠等	
運搬(機材・資材・廃	_		水質における周辺環境への影響は
材・残土等)	_		ない又は極めて小さい。
	水質(環境基準が設定さ	0	降水時に造成面から濁水発生によ
 土地造成(切土·盛土)	れている項目及び物質)		る水質への影響が考えられる。
上地垣双(9)上"盆上/	→ / / / / / / / / / / / / / / / / / / /	^	降水時に造成面から濁水発生によ
	水質(水生生物)		る水生生物への影響が考えられる。
樹木の伐採	_		水質における周辺環境への影響は
関小ツス1木			ない又は極めて小さい。
水質(環境基準	水質(環境基準が設定さ	0	掘削や降水に伴う濁水発生による
掘削	れている項目及び物質)	0	水質への影響が考えられる。
7/出月1	→ FF (→ + + + + + + + + + + + + + + + + + +	^	掘削や降水に伴う濁水発生による
	水質(水生生物)	\triangle	水生生物への影響が考えられる。
廃材・残土等の発生・			水質への影響はないと考えられる。
処理			小貝への影響はないと考えられる。

注) ②: 重点化項目 (調査、予測及び評価を詳細に行う項目) 〇: 標準項目 (調査、予測及び評価を標準的に行う項目) △: 簡略化項目 (調査、予測及び評価を簡略化して行う項目) 一: 非選定項目 (調査、予測及び評価を行わない項目)

表 3-3-12 環境影響評価の項目の選定理由(水質、存在・供用による影響)

影響要因の区分	環境要素の区分		選定項目の分類・根拠等
地形改変	_	_	水質における周辺環境への影響はな
			い又は極めて小さい。
樹木伐採後の状態	_	_	水質における周辺環境への影響はな
個小风水及 5 小恶			い又は極めて小さい。
工作物の存在	_		水質における周辺環境への影響はな
工厂4000万行工			い又は極めて小さい。
緑化	_		水質における周辺環境への影響はな
形状了口	_	_	い又は極めて小さい。
佐部の発働	-	_	水質における周辺環境への影響はな
施設の稼働			い又は極めて小さい。
太陽光パネル等の交			水質における周辺環境への影響はな
換・廃棄	_		い又は極めて小さい。
	小師 (母培甘維お乳ウン		管理施設は設置しないため、水質に
排水処理	水質(環境基準が設定さ	_	おける周辺環境への影響はない又は
	れている項目及び物質)		極めて小さい。
			管理施設は設置しないため、水質に
	水質(水生生物)	_	おける周辺環境への影響はない又は
			極めて小さい。

注)◎: 重点化項目 (調査、予測及び評価を詳細に行う項目) ○: 標準項目 (調査、予測及び評価を標準的に行う項目) △: 簡略化項目 (調査、予測及び評価を簡略化して行う項目) -: 非選定項目 (調査、予測及び評価を行わない項目)

3-7 水象

表 3-3-13 環境影響評価の項目の選定理由(水象、工事による影響)

影響要因の区分	環境要素の区分		選定項目の分類・根拠等
運搬(機材・資材・廃材・	_	_	水象における周辺環境への影響は
残土等)	_	_	ない又は極めて小さい。
	 水象(河川及び湖沼)		土地の造成等に伴い表流水の挙動
 土地造成(切土·盛土)	小家(門川及)(明伯)		への影響が考えられる。
上地垣放(切上'盈上/	水象(地下水)		土地の造成等に伴い地下水の挙動
	小家(地下小)		への影響が考えられる。
樹木の伐採	水象(河川及び湖沼)	0	樹木の伐採に伴い表流水の挙動へ
			の影響が考えられる。
倒小り込法	水象(地下水)		地表が変化することに伴い地下水
	小家(地下水)		の挙動への影響が考えられる。
掘削	水象(地下水)	0	掘削に伴い地下水の挙動への影響
			が考えられる。
廃材・残土等の発生・処		_	水象における周辺環境への影響は
理			ない又は極めて小さい。

注) ②: 重点化項目 (調査、予測及び評価を詳細に行う項目) 〇:標準項目 (調査、予測及び評価を標準的に行う項目) △:簡略化項目 (調査、予測及び評価を簡略化して行う項目) 一:非選定項目 (調査、予測及び評価を行わない項目)

表 3-3-14 環境影響評価の項目の選定理由(水象、存在・供用による影響)

影響要因の区分	環境要素の区分		選定項目の分類・根拠等
가는 시트시파 하다	水象(河川及び湖沼)	0	地形改変に伴い表流水の挙動への影 響が考えられる。
地形改変	水象(地下水)	0	地形改変に伴い地下水の挙動への影響が考えられる。
村上任何然 の比較	水象(河川及び湖沼)	0	森林が失われることに伴い表流水の 挙動への影響が考えられる。
樹木伐採後の状態	水象(地下水)	0	地表が変化することに伴い地下水の 挙動への影響が考えられる。
The life of the de	水象(河川及び湖沼)	0	工作物の存在に伴い表流水の挙動へ の影響が考えられる。
工作物の存在	水象(地下水)	0	工作物の存在に伴い伴い地下水の挙 動への影響が考えられる。
√3./1∠	水象(河川及び湖沼)	0	地表が変化することに伴い表流水の 挙動への影響が考えられる。
緑化	水象(地下水)	0	地表が変化することに伴い地下水の 挙動への影響が考えられる。
施設の稼働	_	_	水象における周辺環境への影響はな い又は極めて小さい。
太陽光パネル等の交 換・廃棄	_	_	水象における周辺環境への影響はな い又は極めて小さい。
排水処理	水象(河川及び湖沼)	_	水象における周辺環境への影響はな い又は極めて小さい。

注)◎: 重点化項目 (調査、予測及び評価を詳細に行う項目) ○: 標準項目 (調査、予測及び評価を標準的に行う項目) △: 簡略化項目 (調査、予測及び評価を簡略化して行う項目) -: 非選定項目 (調査、予測及び評価を行わない項目)

3-8 土壌汚染

表 3-3-15 環境影響評価の項目の選定理由(土壌汚染、工事による影響)

影響要因の区分	環境要素の区分		選定項目の分類・根拠等
運搬(機材・資材・廃		_	土壌における周辺環境への影響は
材・残土等)			ない又は極めて小さい。
 土地造成(切土·盛土)	環境基準が設定されて	^	土地造成等により、土壌への影響が
工地垣风(別工・盤工)	いる項目及び物質	\triangle	考えられる。
樹木の伐採		_	土壌における周辺環境への影響は
			ない又は極めて小さい。
掘削 —	_	土壌における周辺環境への影響は	
7年月1	_	_	ない又は極めて小さい。
廃材・残土等の発生・			土壌における周辺環境への影響は
処理	_		ない又は極めて小さい。

注)◎: 重点化項目 (調査、予測及び評価を詳細に行う項目) ○: 標準項目 (調査、予測及び評価を標準的に行う項目) △: 簡略化項目 (調査、予測及び評価を簡略化して行う項目)

-:非選定項目(調査、予測及び評価を行わない項目)

表 3-3-16 環境影響評価の項目の選定理由(土壌汚染、存在・供用による影響)

影響要因の区分	環境要素の区分		選定項目の分類・根拠等
地形改変	_	_	土壌における周辺環境への影響はな
			い又は極めて小さい。
 樹木伐採後の状態	_	_	土壌における周辺環境への影響はな
倒小风沐夜 小小忠			い又は極めて小さい。
工作物の存在	_		土壌における周辺環境への影響はな
11下初の71十1工		_	い又は極めて小さい。
緑化	_	_	土壌における周辺環境への影響はな
秋年			い又は極めて小さい。
大乳の谷魚	_		土壌における周辺環境への影響はな
施設の稼働			い又は極めて小さい。
太陽光パネル等の交	環境基準が設定されて	^	太陽光パネルの撤去方法によって
換・廃棄	いる項目及び物質	\triangle	は、土壌への影響が考えられる。
排水処理	_	_	土壌における周辺環境への影響はな
			い又は極めて小さい。

注) ②: 重点化項目 (調査、予測及び評価を詳細に行う項目)

○:標準項目 (調査、予測及び評価を標準的に行う項目) △:簡略化項目 (調査、予測及び評価を簡略化して行う項目)

3-9 地盤沈下

表 3-3-17 環境影響評価の項目の選定理由(地盤沈下、工事による影響)

影響要因の区分	環境要素の区分		選定項目の分類・根拠等	
運搬(機材・資材・廃	_		地盤沈下における周辺環境への	
材・残土等)	_		影響はない又は極めて小さい。	
土地造成(切土・盛土)			地盤沈下における周辺環境への	
工地垣成(切工・盤工)	_	_	影響はない又は極めて小さい。	
樹木の伐採	ı		地盤沈下における周辺環境への	
			影響はない又は極めて小さい。	
掘削 —	_	地盤沈下における周辺環境への		
		影響はない又は極めて小さい。		
廃材・残土等の発生・			地盤沈下における周辺環境への	
処理	_		影響はない又は極めて小さい。	

注) ◎: 重点化項目 (調査、予測及び評価を詳細に行う項目)

○:標準項目 (調査、予測及び評価を標準的に行う項目) △: 簡略化項目 (調査、予測及び評価を簡略化して行う項目) -: 非選定項目 (調査、予測及び評価を行わない項目)

表 3-3-18 環境影響評価の項目の選定理由(地盤沈下、存在・供用による影響)

影響要因の区分	環境要素の区分		選定項目の分類・根拠等
地形改変			地盤沈下における周辺環境への影
地形以发	_		響はない又は極めて小さい。
樹木伐採後の状態	_	_	地盤沈下における周辺環境への影
倒小闪木饭 7 从忠			響はない又は極めて小さい。
工作物の存在	_		地盤沈下における周辺環境への影
工1下初771十1工	_	_	響はない又は極めて小さい。
ý∃ /I.	_	_	地盤沈下における周辺環境への影
緑化			響はない又は極めて小さい。
大乳の砕魚		_	地盤沈下における周辺環境への影
施設の稼働	_		響はない又は極めて小さい。
太陽光パネル等の交			地盤沈下における周辺環境への影
換・廃棄	_	_	響はない又は極めて小さい。
排水処理			地盤沈下における周辺環境への影
	_	_	響はない又は極めて小さい。

注) ◎: 重点化項目 (調査、予測及び評価を詳細に行う項目)

○:標準項目 (調査、予測及び評価を標準的に行う項目) △: 簡略化項目 (調査、予測及び評価を簡略化して行う項目) 一: 非選定項目 (調査、予測及び評価を行わない項目)

3-10 地形·地質

表 3-3-19 環境影響評価の項目の選定理由(地形・地質、工事による影響)

影響要因の区分	環境要素の区分	選定項目の分類・根拠等		
運搬(機材・資材・廃	_		地形・地質における周辺環境への影響	
材・残土等)			はない又は極めて小さい。	
土地造成(切土・盛土)	地形・地質(土地の安		土地造成に伴う土地の安定性への影響	
工地垣放(別工・盈工)	定性)		が考えられる。	
樹木の伐採	地形・地質 (土地の安 定性)	0	樹木の伐採に伴う土地の安定性への影	
			響が考えられる。	
掘削		地形・地質における周辺環境への影響		
		はない又は極めて小さい。		
廃材・残土等の発生・	地形・地質(土地の安		地形・地質における周辺環境への影響	
処理	定性)	_	はない又は極めて小さい。	

注) ②: 重点化項目(調査、予測及び評価を詳細に行う項目)

○:標準項目 (調査、予測及び評価を標準的に行う項目) △:簡略化項目 (調査、予測及び評価を簡略化して行う項目)

-:非選定項目(調査、予測及び評価を行わない項目)

表 3-3-20 環境影響評価の項目の選定理由(地形・地質、存在・供用による影響)

影響要因の区分	環境要素の区分		選定項目の分類・根拠等
地形改変	地形・地質(土地の安定		地形改変により土地の安定性への影
地形以及	性)		響がある場合が考えられる。
 樹木伐採後の状態	地形・地質(土地の安定		樹木の伐採により土地の安定性への
個小以1木後7八思	性)		影響がある場合が考えられる。
工作物の存在	_		地形・地質における周辺環境への影
工作物の行性	_	_	響はない又は極めて小さい。
緑化	地形・地質(土地の安定	0	緑化により土地の安定性への影響が
	性)		ある場合が考えられる。
施設の稼働	_	-	地形・地質における周辺環境への影
			響はない又は極めて小さい。
太陽光パネル等の交			地形・地質における周辺環境への影
換・廃棄			響はない又は極めて小さい。
排水処理	_		地形・地質における周辺環境への影
	_	_	響はない又は極めて小さい。

注) ◎: 重点化項目(調査、予測及び評価を詳細に行う項目)

○:標準項目 (調査、予測及び評価を標準的に行う項目)

△:簡略化項目(調査、予測及び評価を簡略化して行う項目)

3-11 植物

表 3-3-21 環境影響評価の項目の選定理由(植物、工事による影響)

	境内が音 Timeの 切ら C C C C C C C C C C C C C C C C C C			
影響要因の区分	環境要素の区分		選定項目の分類・根拠等	
運搬 (機材・資材・廃 材・残土等)	_	_	工事関係車両の走行に伴う植物の生 育環境への影響は極めて小さいと考 えられる。	
	植物(植物相)	0		
	植物(植生)	0		
 土地造成(切土·盛土)	植物(土壌)	\triangle	土地造成に伴う植物の生育環境への	
上地垣成(切上	植物(注目すべき個 体・集団・種及び群落)	0	影響が考えられる。	
	植物(保全機能等)	0		
	植物(植物相)	0		
	植物(植生)	0	世上の小板 マルマ 中比の 中大四位	
樹木の伐採	植物(注目すべき個 体・集団・種及び群落)	0	樹木の伐採に伴う植物の生育環境 の影響が考えられる。	
	植物(保全機能等)	0		
	植物(植物相)	0		
	植物(植生)	0		
掘削	植物(土壌)	\triangle	掘削に伴う植物の生育環境への影響	
7出月1	植物(注目すべき個 体・集団・種及び群落)	0	が考えられる。	
	植物(保全機能等)	0		
	植物(植物相)	Δ		
	植物(植生)	\triangle		
廃材・残土等の発生・ 処理	植物(土壌)	\triangle	廃材・残土の発生・処理に伴う植物	
	植物(注目すべき個		の生育環境への影響が考えられる。	
	体・集団・種及び群落)			
	植物(保全機能等)	0		

注) ②: 重点化項目 (調査、予測及び評価を詳細に行う項目) ○: 標準項目 (調査、予測及び評価を標準的に行う項目) △: 簡略化項目 (調査、予測及び評価を簡略化して行う項目)

表 3-3-22 環境影響評価の項目の選定理由(植物、存在・供用による影響)

12 0 0 22		() ()	他物、什住・洪州による影音/
影響要因の区分	環境要素の区分		選定項目の分類・根拠等
	植物(植物相)	\bigcirc	
	植物(植生)	0	¬ - 地形改変に伴う植物の生育環境
地形改変	植物(土壌)	\triangle	□地の気を作り他物の生育環境□への影響が考えられる。
	植物(注目すべき個体・		- * * * * * * * * * * * * * * * * * * *
	集団・種及び群落)	0	
	植物(植物相)	0	
	植物(植生)	0	上地生はたいなる技物の生态環接
樹木伐採後の状態	植物(注目すべき個体・		- 土地造成に伴う植物の生育環境 への影響が考えられる。
	集団・種及び群落)	0	への影響が考えられる。
	植物(保全機能等)	0]
	植物(植物相)	0	
	植物(植生)	0	
工作物の存在	植物(注目すべき個体・		工作物の存在に伴う植物の生育
	集団・種及び群落)	0	環境への影響が考えられる。
	植物(保全機能等)	0]
	植物(植物相)	0	
	植物(植生)	0	タルに W る 技物の H
緑化	植物(注目すべき個体・		- 緑化に伴う植物の生育環境への 影響が考えられる。
	集団・種及び群落)	0	影響からんりんる。
	植物(保全機能等)	0	
			施設の稼働による植物の生育環
施設の稼働	_	_	境への影響は極めて小さいと考
			えられる。
			太陽光パネル等の交換・廃棄は適
太陽光パネル等の交	_		切に行われることから植物の生
換・廃棄	_	_	育環境への影響は極めて小さい
			と考えられる。
排水処理	_	_	排水は適切に処理されることか
			ら植物の生育環境への影響は極
			めて小さいと考えられる。

注) ◎: 重点化項目 (調査、予測及び評価を詳細に行う項目)

○:標準項目 (調査、予測及び評価を標準的に行う項目)△:簡略化項目 (調査、予測及び評価を簡略化して行う項目)

3-12 動物

表 3-3-23 環境影響評価の項目の選定理由(動物、工事による影響)

影響要囚の区分	環境要素の区分	選定項目の分類・根拠等		
運搬(機材・資材・廃	動物(動物相)	\triangle	工事関係車両の走行に伴う動物の	
材・残土等)	動物(注目すべき種及	^	生息環境への影響がある場合が考	
77. 7. 7. 4. 7. 4. 4. 4. 4. 4. 4. 4. 4. 4. 4. 4. 4. 4.	び個体群)		えられる。	
	動物(動物相)	\circ	 土地造成に伴う動物の生息環境へ	
土地造成(切土·盛土)	動物(注目すべき種及		工地垣成に伴り動物の生心原境。 の影響が考えられる。	
	び個体群)	0	マンポン音がつれられてい。	
	動物(動物相)	\circ	 樹木の伐採に伴う動物の生息環境	
樹木の伐採	動物(注目すべき種及		個小の民味に行り動物の生态環境 への影響が考えられる。	
	び個体群)		マンが音がつったりないる。	
	動物(動物相)	0	 掘削に伴う動物の生息環境への影	
掘削	動物(注目すべき種及		響が考えられる。	
	び個体群)		= 10 · 17/2 · 5/4 · 5/0	
廃材・残土等の発生・ 処理	動物(動物相)	0	 廃材・残土の発生・処理に伴う動物	
	動物(注目すべき種及		一次工の先生・定性に伴り動物 の生息環境への影響が考えられる。	
	び個体群)		マノエ心水の マンが音がつ たりまいる。	

注)◎: 重点化項目 (調査、予測及び評価を詳細に行う項目) ○: 標準項目 (調査、予測及び評価を標準的に行う項目) △: 簡略化項目 (調査、予測及び評価を簡略化して行う項目) -: 非選定項目 (調査、予測及び評価を行わない項目)

表 3-3-24 環境影響評価の項目の選定理由(動物、存在・供用による影響)

影響要因の区分	環境要素の区分	選定項目の分類・根拠等		
	動物(動物相)	0	地形み亦に伴る動物の生自環接へ	
地形改変	動物(注目すべき種及	0	地形改変に伴う動物の生息環境へ	
	び個体群)		の放音があたり似る。	
	動物(動物相)	\circ	 樹木伐採に伴う動物の生息環境へ	
樹木伐採後の状態	動物(注目すべき種及 び個体群)	0	個不仅採に行り動物の生息環境。 の影響が考えられる。	
	動物(動物相)	0	7 /r bla 18 + + 1 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 4 - 4 - 4 - 4 - 4	
工作物の存在	動物(注目すべき種及		工作物が存在することによる動物の生息環境への影響が考えられる。	
	び個体群)	0	<u> </u>	
	動物(動物相)	0	急ルに伴る動物の生自悪控。の影	
緑化	動物(注目すべき種及	0	│ 緑化に伴う動物の生息環境への影 │ 響が考えられる。	
	び個体群)		音がつんり40分。	
	_	_	施設の稼働による動物の生息環境	
施設の稼働			への影響は極めて小さいと考えら	
			れる。	
上阳小 0 子 2 体 2 子			太陽光パネル等の交換・廃棄は適切	
太陽光パネル等の交	_	_	に行われることから動物の生息環	
換・廃棄			境への影響は極めて小さいと考え	
			られる。	
排水処理	_	_	排水は適切に処理されることから 動物の生息環境への影響は極めて	
			動物の生态環境への影響は極めて	
	マルコンド記伝ナー詳細に行る	-F II \	7.04.6分とり4.0分。	

注) ◎: 重点化項目 (調査、予測及び評価を詳細に行う項目)

○:標準項目 (調査、予測及び評価を標準的に行う項目)△:簡略化項目 (調査、予測及び評価を簡略化して行う項目)

3-13 生態系

表 3-3-25 環境影響評価の項目の選定理由(生態系、工事による影響)

影響要因の区分	環境要素の区分	選定項目の分類・根拠等		
運搬 (機材・資材・廃材・残土等)	_	_	工事関係車両の走行に伴う周辺生態系への影響は極めて小さいと考 えられる。	
土地造成(切土·盛土)	生態系	0	土地造成に伴う周辺生態系への影響が考えられる。	
樹木の伐採	生態系	0	樹木の伐採に伴う周辺生態系への 影響が考えられる。	
掘削	_	_	掘削に伴う周辺生態系への影響は 極めて小さいと考えられる。	
廃材・残土等の発生・ 処理	生態系	0	廃材・残土の発生・処理に伴う周 辺生態系への影響が考えられる。	

注) ②:重点化項目 (調査、予測及び評価を詳細に行う項目) ○:標準項目 (調査、予測及び評価を標準的に行う項目)

△:簡略化項目 (調査、予測及び評価を簡略化して行う項目) -:非選定項目 (調査、予測及び評価を行わない項目)

表 3-3-26 環境影響評価の項目の選定理由(生態系、存在・供用による影響)

影響要因の区分	環境要素の区分	<u> </u>	選定項目の分類・根拠等
地形改変	生態系	0	地形改変に伴う周辺生態系への影響が考えられる。
樹木伐採後の状態	生態系	0	樹木の伐採に伴う周辺生態系への 影響が考えられる。
工作物の存在	生態系	0	工作物の存在に伴う周辺生態系への影響が考えられる。
緑化	生態系	0	緑化に伴う周辺生態系への影響が 考えられる。
施設の稼働	-	_	施設の稼働に伴う周辺生態系への 影響は極めて小さいと考えられ る。
太陽光パネル等の交 換・廃棄	-	_	太陽光パネル等の交換・廃棄に伴 う周辺生態系への影響は極めて小 さいと考えられる。
排水処理	_	_	排水は適切に処理されることか ら、周辺生態系への影響は極めて 小さいと考えられる。

注) ◎: 重点化項目(調査、予測及び評価を詳細に行う項目)

○:標準項目 (調査、予測及び評価を標準的に行う項目) △:簡略化項目 (調査、予測及び評価を簡略化して行う項目)

3-14 景観

表 3-3-27 環境影響評価の項目の選定理由(景観、工事による影響)

影響要因の区分	環境要素の区分		選定項目の分類・根拠等
運搬(機材・資材・廃	_		景観における周辺環境への影響
材・残土等)			はない又は極めて小さい。
土地造成(切土・盛土)	(景観)景観資源及び構成要素	\circ	土地造成に伴う景観への影響が
上地追放(奶工'盆工)	(景観)主要な景観	\circ	考えられる。
樹木の伐採	(景観)景観資源及び構成要素	\circ	樹木の伐採に伴う景観への影響
個小り次休	(景観)主要な景観	0	が考えられる。
掘削	_		景観における周辺環境への影響
7出月1			はない又は極めて小さい。
廃材・残土等の発生・	(景観)景観資源及び構成要素	0	残土等の発生・処理に伴う景観
処理	(景観)主要な景観	0	の影響が考えられる。

注)◎: 重点化項目 (調査、予測及び評価を詳細に行う項目) ○: 標準項目 (調査、予測及び評価を標準的に行う項目) △: 簡略化項目 (調査、予測及び評価を簡略化して行う項目)

-:非選定項目(調査、予測及び評価を行わない項目)

表 3-3-28 環境影響評価の項目の選定理由(景観、存在・供用による影響)

影響要因の区分	環境要素の区分		選定項目の分類・根拠等
114 ボスコム が	(景観)景観資源及び構成要素	0	地形改変に伴う景観への影響が
地形改変	(景観)主要な景観	0	考えられる。
樹木伐採後の状態	(景観)景観資源及び構成要素	0	樹木の伐採に伴う景観への影響
個小以1木後の小忠	(景観)主要な景観	0	が考えられる。
工作版の存在	(景観)景観資源及び構成要素	0	工作物の存在に伴う景観への影
工作物の存在	(景観)主要な景観	0	響が考えられる。
緑化	(景観)景観資源及び構成要素	0	緑化に伴う景観への影響が考え
78414	(景観)主要な景観	0	られる。
施設の稼働	_		景観における周辺環境への影響
旭以り修則			はない又は極めて小さい。
太陽光パネル等の交	_		景観における周辺環境への影響
換・廃棄	_		はない又は極めて小さい。
排水処理	_		景観における周辺環境への影響
	_		はない又は極めて小さい。

注) ②:重点化項目 (調査、予測及び評価を詳細に行う項目) ○:標準項目 (調査、予測及び評価を標準的に行う項目) △:簡略化項目 (調査、予測及び評価を簡略化して行う項目)

3-15 触れ合い活動の場

表 3-3-29 環境影響評価の項目の選定理由(触れ合い活動の場、工事による影響)

影響要因の区分	環境要素の区分		選定項目の分類・根拠等
運搬 (機材・資材・廃 材・残土等)	触れ合い活動の場	0	工事関係車両等の走行による触れ 合い活動の場への影響が考えられ る。
土地造成(切土・盛土)	-	_	触れ合い活動の場における周辺環境への影響はない又は極めて小さい。
樹木の伐採	-	_	触れ合い活動の場における周辺環境への影響はない又は極めて小さい。
掘削	-	_	触れ合い活動の場における周辺環境への影響はない又は極めて小さい。
廃材・残土等の発生・ 処理	_	_	触れ合い活動の場における周辺環境への影響はない又は極めて小さい。

注) ◎: 重点化項目 (調査、予測及び評価を詳細に行う項目) ○: 標準項目 (調査、予測及び評価を標準的に行う項目) △: 簡略化項目 (調査、予測及び評価を簡略化して行う項目) -: 非選定項目 (調査、予測及び評価を行わない項目)

表 3-3-30 環境影響評価の項目の選定理由(触れ合い活動の場、存在・供用による影響)

影響要因の区分	環境要素の区分		選定項目の分類・根拠等
地形改変	_	_	触れ合い活動の場における周辺環 境への影響はない又は極めて小さ い。
樹木伐採後の状態	_	_	触れ合い活動の場における周辺環境への影響はない又は極めて小さい。
工作物の存在	_	_	触れ合い活動の場における周辺環境への影響はない又は極めて小さい。
緑化	_	_	触れ合い活動の場における周辺環境への影響はない又は極めて小さい。
施設の稼働	_	_	触れ合い活動の場における周辺環境への影響はない又は極めて小さい。
太陽光パネル等の交 換・廃棄	_	_	触れ合い活動の場における周辺環境への影響はない又は極めて小さい。
排水処理	_	_	触れ合い活動の場における周辺環境への影響はない又は極めて小さい。

注) ②:重点化項目(調査、予測及び評価を詳細に行う項目) 〇:標準項目 (調査、予測及び評価を標準的に行う項目) △:簡略化項目(調査、予測及び評価を簡略化して行う項目) 一:非選定項目(調査、予測及び評価を行わない項目)

3-16 文化財

表 3-3-31 環境影響評価の項目の選定理由(文化財、工事による影響)

影響要因の区分	環境要素の区分	選定項目の分類・根拠等		
運搬(機材・資材・廃	_		文化財における周辺環境への影響	
材・残土等)	_		はない又は極めて小さい。	
 土地造成(切土·盛土)	 文化財		土地造成に伴う埋蔵文化財への影	
工地垣放(切工・盈工) 又	大 行[於]		響が考えられる。	
 樹木の伐採	_	_	文化財に影響を与える要因は考え	
関小の次法			られない。	
 掘削	 文化財		掘削に伴う埋蔵文化財への影響が	
1/出月1	文化於		考えられる。	
廃材・残土等の発生・	文化財	\circ	残土等の発生・処理に伴う埋蔵文	
処理			化財への影響が考えられる。	

注)◎: 重点化項目 (調査、予測及び評価を詳細に行う項目) ○: 標準項目 (調査、予測及び評価を標準的に行う項目) △: 簡略化項目 (調査、予測及び評価を簡略化して行う項目) -: 非選定項目 (調査、予測及び評価を行わない項目)

表 3-3-32 環境影響評価の項目の選定理由(文化財、存在・供用による影響)

影響要因の区分	環境要素の区分		選定項目の分類・根拠等
地形改変	_		文化財における周辺環境への影響
地形以发	_		はない又は極めて小さい。
樹木伐採後の状態	_	_	文化財における周辺環境への影響
倒小风沐夜 7 从愿			はない又は極めて小さい。
工作物の存在	_	_	文化財における周辺環境への影響
工1下70071于1工	_	_	はない又は極めて小さい。
緑化	I	_	文化財における周辺環境への影響
形化工			はない又は極めて小さい。
施設の稼働	_	_	文化財における周辺環境への影響
旭収が郷			はない又は極めて小さい。
太陽光パネル等の交	_		文化財における周辺環境への影響
換・廃棄	・廃棄		はない又は極めて小さい。
排水処理	_	_	文化財における周辺環境への影響
			はない又は極めて小さい。

注) ②: 重点化項目 (調査、予測及び評価を詳細に行う項目) 〇:標準項目 (調査、予測及び評価を標準的に行う項目) △:簡略化項目 (調査、予測及び評価を簡略化して行う項目) 一:非選定項目 (調査、予測及び評価を行わない項目)

3-17 廃棄物等

表 3-3-33 環境影響評価の項目の選定理由 (廃棄物等、工事による影響)

影響要因の区分	環境要素の区分	選定項目の分類・根拠等		
運搬 (機材・資材・廃 材・残土等)	_	-	廃棄物等の発生はない。	
土地造成(切土·盛土)	_	ı	(廃材・残土等の発生・処理 で対応)	
樹木の伐採	_	ı	(廃材・残土等の発生・処理 で対応)	
掘削	_	-	(廃材・残土等の発生・処理 で対応)	
	廃棄物等(廃棄物)	0	建設工事に伴い副産物の発生 が見込まれる。	
廃材・残土等の発生・ 処理	廃棄物等(残土等の副産物)	0	樹木の伐採による伐採木、土 地造成による残土等の副産物 の発生が見込まれる。	

注) ②: 重点化項目 (調査、予測及び評価を詳細に行う項目) 〇: 標準項目 (調査、予測及び評価を標準的に行う項目) △: 簡略化項目 (調査、予測及び評価を簡略化して行う項目) 一: 非選定項目 (調査、予測及び評価を行わない項目)

表 3-3-34 環境影響評価の項目の選定理由(廃棄物等、存在・供用による影響)

影響要因の区分	環境要素の区分		選定項目の分類・根拠等
地形改変	_	_	廃棄物等における周辺環境 への影響はない又は極めて 小さい。
樹木伐採後の状態	_	_	廃棄物等における周辺環境 への影響はない又は極めて 小さい。
工作物の存在	廃棄物等(残土等の副産物)	Δ	調整池の浚渫時に浚渫土砂 の発生が見込まれる。
緑化	_	_	廃棄物等における周辺環境 への影響はない又は極めて 小さい。
施設の稼働	-	_	廃棄物等における周辺環境 への影響はない又は極めて 小さい。
太陽光パネル等の交 換・廃棄	廃棄物等(廃棄物)	Δ	除草により草木の発生が見 込まれる。太陽光パネル等の 交換・廃棄方法を検討する。
排水処理	_	_	廃棄物等における周辺環境 への影響はない又は極めて 小さい。

注) ②: 重点化項目 (調査、予測及び評価を詳細に行う項目) 〇: 標準項目 (調査、予測及び評価を標準的に行う項目) △: 簡略化項目 (調査、予測及び評価を簡略化して行う項目) 一: 非選定項目 (調査、予測及び評価を行わない項目)

3-18 温室効果ガス等

表 3-3-35 環境影響評価の項目の選定理由(温室効果ガス等、工事による影響)

影響要因の区分	環境要素の区分		選定項目の分類・根拠等
運搬(機材・資材・廃	温室効果ガス等	^	工事関係車両の走行に伴い温室効
材・残土等)	価主効木ルク寺	\triangle	果ガス等が発生する。
土地造成(切土·盛土)	温室効果ガス等	\triangle	建設機械の稼働に伴い温室効果ガ
			ス等が発生する。
掛木の保切	樹木の伐採温室効果ガス等	\triangle	樹木の伐採に伴い二酸化炭素の吸
倒水の以木			収源が失われる。
掘削	温室効果ガス等	^	建設機械の稼働に伴い温室効果ガ
が世出れ	価主効木ハハ寺	\triangle	ス等が発生する。
廃材・残土等の発生・			温室効果ガス等における周辺環境
焼材・残工等の発生・ 処理	_	_	への影響はない又は極めて小さ
光 生			V,

注) ◎: 重点化項目 (調査、予測及び評価を詳細に行う項目)

○:標準項目 (調査、予測及び評価を標準的に行う項目) △:簡略化項目 (調査、予測及び評価を簡略化して行う項目)

-:非選定項目(調査、予測及び評価を行わない項目)

表 3-3-36 環境影響評価の項目の選定理由(温室効果ガス等、存在・供用による影響)

影響要因の区分	環境要素の区分		選定項目の分類・根拠等
地形改変	_	_	温室効果ガス等における周辺環境への影響はない又は極めて小
樹木伐採後の状態	_	_	はいの影響はない又は極めて小さい。
工作物の存在	温室効果ガス等	0	太陽光発電により温室効果ガスの削減効果が見込める。
緑化	温室効果ガス等	\triangle	緑化により温室効果ガスの吸収 源が生じる。
施設の稼働	_	_	祖学が田光ラヴァわけて田田碑
太陽光パネル等の交 換・廃棄		_	温室効果ガス等における周辺環 境への影響はない又は極めて小 さい。
排水処理	_	_	- C V '.

注) ◎: 重点化項目 (調査、予測及び評価を詳細に行う項目)

○:標準項目 (調査、予測及び評価を標準的に行う項目) △:簡略化項目 (調査、予測及び評価を簡略化して行う項目)

3-19 その他の環境要素

表 3-3-37 環境影響評価の項目の選定理由(その他の環境要素、工事による影響)

	,, <u> </u>		
影響要因の区分	環境要素の区分		選定項目の分類・根拠等
運搬(機材・資材・廃	_		周辺環境への影響はない又は極め
材・残土等)	_		て小さい。
土地造成(切土·盛土)	_		周辺環境への影響はない又は極め
上地坦风(奶工'盆工/			て小さい。
樹木の伐採	_		周辺環境への影響はない又は極め
倒小り入1木	_		て小さい。
掘削	_		周辺環境への影響はない又は極め
1/出月1		_	て小さい。
廃材・残土等の発生・			周辺環境への影響はない又は極め
処理	_		て小さい。

注) ②: 重点化項目 (調査、予測及び評価を詳細に行う項目) 〇:標準項目 (調査、予測及び評価を標準的に行う項目) △:簡略化項目 (調査、予測及び評価を簡略化して行う項目)

-:非選定項目(調査、予測及び評価を行わない項目)

表 3-3-38 環境影響評価の項目の選定理由(その他の環境要素、存在・供用による影響)

影響要因の区分	環境要素の区分		選定項目の分類・根拠等
地形改変	_		周辺環境への影響はない又は極
地形以发	_		めて小さい。
樹木伐採後の状態	_	_	周辺環境への影響はない又は極
倒不以沐饭少扒忘			めて小さい。
工作物の存在	その他の環境要素(光		太陽光パネルの反射光による影
工11-100071于1工	害)		響が考えられる。
 緑化	_	_	周辺環境への影響はない又は極
形代し	_		めて小さい。
			パワーコンディショナーの稼働
施設の稼働	電波障害	\circ	に伴い電磁波による周辺環境へ
			の影響が考えられる。
太陽光パネル等の交	_		周辺環境への影響はない又は極
換・廃棄			めて小さい。
+11: →1/ bn xm			周辺環境への影響はない又は極
排水処理	_		めて小さい。

注) ②: 重点化項目 (調査、予測及び評価を詳細に行う項目)

○:標準項目 (調査、予測及び評価を標準的に行う項目) △:簡略化項目 (調査、予測及び評価を簡略化して行う項目)